

74期 第3学年 思い出プロジェクト PART2

3学期、いよいよ卒業も間近に迫ってきた中での新型コロナウイルス感染症の感染拡大により不安が広がっていく。けれど、高校生の青春は一瞬。振り返った時に笑っている思い出を少しでも……。だから、感染症対策を徹底しながらも、卒業までに企画した「思い出プロジェクト」を1つでも多く実現したい。生徒達の自らやってみようという想いが高まった。

【5】 ありがとう動画 2022年 2月9日

卒業準備委員会から生徒達の学校生活でスマホに保存されている動画や写真を集めたものを編集して、みんなで高校生活を振り返ってみたい。そんな企画が委員会を結成した日から挙がっていた。行事のたびに工夫しながら動画を撮影していた。登校日に笑顔で卒業を迎えるためにみんなで編集した映像をついに観ることになった。そこに映っていたのは、振り返りの動画だけではなく、先生達への感謝のメッセージが入ったサプライズ動画となっていた。先生達は驚きと温かい笑顔を見せながら、スクリーンを見ていた。そして、会場中が微笑ましい笑顔と穏やかな空気に包まれていた。

【6】 卒業式直前ライブ&卒業の歌の録音 2022年 2月28日

卒業の歌を卒業式にみんなでは歌えない。でも、5月に卒業の歌を決め、みんなで1年間、思い出の曲として温めてきた。何かあるたびに流れていた曲。それなのに……。それなら、感染対策を徹底して、ルールの範囲内で少しでも実現できる方法を考えよう。前向きな考えが浮かんできた。クラスごとに体育館で一人一人の間隔をしっかりと取り、歌を歌い、録音をする。歌う回数は各クラス2回のみ。クラスごとでも想いは卒業生233名全員が繋がっていた。そんな感動的な歌声がどのクラスにも広がっていた。そして、さまざまな発表を制限されたこの学年の最後の発表として、有志の団体が歌を歌う。舞台には2名まで。それでも、みんなの前で表現して想いを届けたい。みんなで笑顔を共有したい。そんな想いで、生徒が進行をしながら、発表ライブが開催された。最後は、そんな想いに答えたいと学年の先生達が歌を届けた。マスク越しだったが、心に響く歌声に生徒達は優しい笑顔で受け止めていた。



【7】卒業式予行・学年の先生達からの最後のメッセージ 2022年 3月2日

卒業式前日。いよいよ卒業式を明日に控え、式の予行練習を行った。生徒達は式の流れを確認しながら、緊張とどこか淋しさを見せていた。予行を一通り終えた後、1本の動画が体育館に映し出された。それは、先生達が、3年間の生徒の様子を撮り溜めた写真を編集し、学年団の先生全員の一人ずつのメッセージを載せたものだった。さらに先生達の20歳頃の写真を載せていた。生徒達は、驚きから、笑いに・・・そして、最後は涙へと変わっていった。先生達から最後の言葉が語られる。先生達は思わず涙が込み上げてきそうになるが、まだ早いと我慢しながら、生徒達に最後のメッセージを語った。



【8】卒業式・卒業の歌と全員の笑顔の動画 2022年 3月3日

とうとうこの日が来た。8時55分 SHR が始まった。先生達が教室に入ると、普段遅刻しがちだった生徒も時間通りに教室に来ていて、ソワソワしている。卒業式の参列は保護者1名。歌は歌えない。それでも、卒業生の晴れの舞台。これまで、保護者は行事など、生徒の学校生活を見ることができずにいた。そこで、卒業生が入場する前に三年間を振り返ったスライド動画を上映することにした。家では見ることのできない学校でのキラキラした笑顔を見て胸が熱くなった後、卒業生が入場。そこには服装を整え、堂々と入場してくる姿があった。呼名での大きな返事。ふざけることなく肅々と・・・それがたくましく見えた。卒業生の言葉では、友達とご飯を話しながら食べること。休み時間にじゃれ合ったり、行事で叫んだりすること。それを制限されることが高校生にとってどれだけ辛いことか・・・でも、先生達が行事をできる限りやってくれた。少しでも思い出を増やそうとしてくれたことに感謝の言葉があった。そして、閉式の辞が終わり、残すは卒業生の退場を待つのみ。そんな中、1人の生徒が、保護者の席に歩いていった。卒業準備委員の委員長だ。彼は真っすぐな眼差しで保護者に向けて、感謝の言葉を伝え、最後に1本の動画を送りたいと述べ、自分の席に戻っていった。その動画は、卒業の歌を生徒が録音した音源と卒業生全員の笑顔に溢れていたものだった。保護者や先生、生徒の中には感極まって、涙する姿もあった。たくさんの制限や我慢の中でもたくましく学校生活を送った生徒達に拍手を送りたいと、誰もが思ったそんな素晴らしい卒業式となった。

